

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着サービスの一つとなったグループホームの役割を確認し地域住民との交流を持ちその方らしい暮らしを目指している	○	今後より地域に根ざした運営が出来るよう理念の見直しをしていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲げ管理者、職員が常に確認し合い日々の介護の中で取り組んでいる	○	今後、理念を見直し、地域住民との交流を深め、ホームが地域で果たすことの出来る役割を考えて行きたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会、運営推進会議の中で地域住民との交流の下、その方らしい暮らしができるよう、説明し、理解が得られるよう努めている		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の途中声をかけて頂き会話をしたり、気軽にホームに立ち寄ってもらっている。花、リンゴ、竹の子等季節の花や野菜を頂いたりしている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事のどんど焼き、地元小学校の行事（運動会、音楽会）に招待されたり、年間を通して小学生や保育園児との交流で地域に出かける機会が多い。またホーム独自の夏祭り、運動会、焼き芋大会には地域の方々にチラシを配り参加して頂いている。		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後も地域に貢献できることは何か話し合い実現して行きたい</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>今回の自己評価により玄関に鍵をかけない介護に取り組んでいる（時間帯、人員等を考慮）</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>今後も地域密着サービスを念頭にできることを話し合いながら取り組んでいきたい</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>これからもサービスの向上に向け市との連絡を密にして行きたい</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>職員全員が知識を持ち、取り組めるように研修の機会があれば積極的に学んでいきたい</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>外部研修の受講、行政からのパンフレットを身近において意識を持ち、常に学習して行きたい</p>

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は運営規程、約款、重要事項説明書等で十分説明を行い、重度化したり、退居となった場合の時も考慮し、次の生活にスムーズに移行できるよう、ていねいに説明を行い、不安や疑問を尋ね、理解と納得を得ている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の会話や言動から不満や苦情を汲み取るようにしている。又家族には、苦情を言いやすい雰囲気作りに努め、面会時意見を聞くようにしている。意見箱も設置し意見を出し易いように配慮している。長野市から派遣されるあんしん相談員を受け入れ、外部者へ表せる機会をもうけている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来所時や電話報告、月一回生活の様子を書いた記録を送付している。ホーム便りを発行し写真による暮らしぶりなどの近況報告をしている。お小遣い帳は面会時に確認して頂き、サインをもらっている。また定期的3ヶ月に一度、収支報告書も送付している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時に行政等へ苦情の訴えができることを説明している。事務所の入口にご意見箱を設定、入居のときはその説明もしている。また、面会時に苦情や要望なども常に伺うようにしている。苦情受付簿を作成し、各々の苦情の具体的な事例を記録し、管理し、再発防止に役立てている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のケアプラン会議などで職員の意見を汲み取っており、月一回の法人の会議で運営者に報告・相談している。	○	スタッフ一人ひとりが意見を言いやすい環境にするための個別の面談を定期的に行いたい。要望や意見を言いやすい、仕事のしやすい職場環境にしていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況変化などに対応できるような勤務体制になっている。急変時には時間外勤務などで対応し職員に理解を得ている。		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の面談を行って話を聞き、本人を理解するように努めている。家族や利用施設職員などからも情報収集をして出来るだけ本人の不安をなくすように努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所申し込み時から家族の思いを聞き、本人の思いとの違いを知る。家族の立場に立って傾聴の姿勢をとり、信頼関係に努めている。面会時でもできるだけ機会をつくるようにしている。	○ 家族以外の本人の回りの人からも面会があった時には出来るだけ聞き取れるようにしていく。センター方式でまとめていきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所の申し込みは随時受け付けているが、他のサービスの内容も説明している。また、満床のときのためにGH長野とも、老健とも連携している。	○ 近くのGHと横のつながりを作り、緊急性のある入居希望者への随時対応できる方法がとれないかと思う。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前にホームへ見学に来ていただき、ご本人に施設を案内し施設内に掲示されている写真等で生活の様子を理解して頂き、他のご利用者さんとお茶を飲んで馴染んでいただけるよう努めている。	○ 認知の状態、家族の事情も考慮している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	持てる力を十分に発揮できるよう、料理・季節の行事など昔からの慣わし等教わりながら生活を共にし、ゆったりとした毎日が送れ支えあう関係を築くように心がけている。	

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者の様子を随時報告しながら共に協力しあい支援している。可能な限りケアプランに家族にも協力して頂ける役割を盛り込んでいる（外出・外泊など）。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族にしか出来ないことを理解していただき、スタッフはそれを支援する。また、家族からの情報はスタッフが共有して、家族の思いは全スタッフが理解するようにしている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お盆や正月の帰省、買物やなじみの美容院、墓参りなどできるように支援している。	○	家族の理解をお願いし協力してもらっている。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	暮らしの中で築いた人間関係を尊重し見守っているが、相性や認知レベルの違いで孤立する利用者もあり、利用者間のクッションになるようにスタッフは常に心がけている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	併設施設への入所された方、他施設へ移動された方、いずれも面会に行っています。家族にお会いしたときも様子を聞いたり、家族と年賀状のやり取りをしています。		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりが今までの生活の延長が出来るよう希望を聞いたり、生活パターンの把握に努め出来る限り本人の気持ちを尊重している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族も含め面談したり、訪問調査にて情報収集している。家族に生活暦を書いていただいたり、聞き取り調査を行っている。本人との日常会話の中で生活環境などを聞いたりし常にノートに書きとめ、センター方式に反映している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝のバイタルチェック、体調管理に努め本人の意思を尊重し、無理せず、出来ることを行っている。些細な行動や発言もケア記録に記入して職員間で共有し、現状を把握するように努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の担当者が中心になりアセスメントし、家族の意向、本人の意向もできる限り反映させたケアプランを職員全員で作成している。職員は常に連携をとり、ケアについてなどの意見の交換を行っている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居後2ヶ月間は毎月、その後は3ヶ月に一度見直しをしているが、対応できない変化が生じたときはそのつど、家族・本人の意向を汲みながら見直ししています。	

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の中で発した言葉や様子など気づきをケア記録に記入して、カンファレンスで見直し、利用者の個性をどう生かすか検討している。又ホワイトボード・申し送りノートを活用し情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	定期受診や専門医外来受診時、家族対応が困難な方は職員が付き添い、病状説明している。またリフト車必要な方にはデイケアより借り、職員が送迎している。外出時も法人所有の車手配している。法人内の他の事業所とも協働し本人家族の希望に添えるよう柔軟に支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進委員のメンバーに民生委員さんに入って頂いている。年2回の防災訓練は地元消防署、地元消防団の協力で実施している。地元の小学校、保育園、高校、専門学校生と交流している。地元のボランティアさんも多く訪問して頂いている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の状態変化や必要に応じて他サービスを紹介したり、話し合い、相談をしている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運推会議では委員として参加してもらい、地域参加の行事にも参加をお願いしている。権利擁護のアドバイスや指導もしてもらっている。		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	入院になった場合早期に退院できるよう、医療機関と連携をとりたい。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	「重度化の指針」については市の実地指導で内容の補足と家族の同意を得るよう指導を頂いており、早急に内容を整備し家族に提示し同意を得られるように取り組みたい
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後入居時ご家族に「重度化の指針」を掲示し説明して同意を得るよう取り組みたい。状況により改めてご家族、かかりつけ医、訪問看護師と話し合い方針を決めていきたい

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>他事業所（コスモス内外を問わず）に移動の際はアセスメントやケアプラン、近況報告を渡しており、必要に応じて随時情報交換もしている。退所後もスタッフによる面会や必要に応じて家族とも連絡を取っている。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>運営理念の中にも謳っており職員は日頃より、入居者の尊厳を大切にし本人の意志やプライドを損ねない言葉掛けや対応を心掛けている。守秘義務は契約内容であり、又家族へ説明、入居の際にも同意を得ている。居室、トイレには鍵がついており、プライバシーが確保されている。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人が話せる状況を作り、本人の意思・自己決定を尊重するように努力している。日常の会話や表情、そぶりの中で気持ちを汲み取り、必要に応じて一対一で時間を掛けて話を聞く機会を持っている。何度でも説明している。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の意思を尊重し体調など考慮しながら、一人ひとりのペースで1日の生活を送れるように支援している。レクリエーション・作業も本人の得意な物、興味の持てる物をそれぞれの希望を聞きながら用意し支援している。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるために基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>個人的に化粧水や化粧品を持っており自室で身だしなみをしている。ボランティアの訪問で顔そりや化粧をしていただいている。髪カットは近所の美容師さんに来て頂いているが家族が外の美容室に連れて行く人もいる。</p>	<p>○</p> <p>近所の美容室に出張していただき髪をカットしてもらっているが髪型が同じになってしまうこともあるので、他の美容室も利用できるような支援していきたい。</p>

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	今後も入浴時間や回数など話し合っていきたい。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム前に主要道路があり交通量も多く危険が多いため時間や状況により玄関の鍵を掛けることがある。開錠しているときは常に玄関に気を配り、ドアにウェルカムベルを取り付け注意を払っている。ホールからベランダへの出入り口は夜間以外鍵を掛けずブザーで入居者の出入りの確認が出来るように工夫している。	○	鍵を掛けない時間を多くするよう職員で話し合いをしている。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮し職員は常に入居者の所在を確かめ、居室で休まれている方は定期的に見回り、声がけしている。夜間は巡視により所在確認、安否確認をしている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	台所の刃物の保管場所にはロックを付け安全確保している。洗剤など危険と思われる物の保管は所定の場所を設けている。居室の持ち物、家具等各個人に応じて危険と思われる物は本人、家族に説明しご理解頂き職員が保管するか家族に持ち帰って頂いている。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	些細な事でもひやりはっと報告書を作成・職員全員に回覧し検討会にて話し合い、職員全員が周知し事故防止に取り組んでいる。事故後速やかにミーティングを職員全員で開き原因解明・対策を話し合っている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訪問看護師に研修会などを開いてもらい職員の技術向上を目指している。職員間での勉強会をもっている。異物吸入器具は設置してあり使用方法も訪問看護師から指導受けている。	○	緊急時の対応には知識や状況判断が必要なため定期的な勉強会を開き、応急処置などの訓練をし知識向上に努めたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回夜間想定・日中想定消防訓練を実施しておりその際、地域の消防署、消防団の方にも出席頂いている。緊急連絡網があり常に連絡が取れるように抜き打ちの緊急連絡網を回し、確認している。		

グループホームコスモスさいなみ・1階


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>入居時身体拘束を行わない生活を説明しており、普段から入居者の状態や行動によるリスク等を家族に報告し話し合っている。(生活記録 月一回送付) また状況変化に応じ、その都度ご家族に連絡し相談している。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日のバイタルチェック、食事の摂取量等の記録、体調の変化時には連絡ノート等により全職員に情報を提示している。体調の変化は見逃さないよう気配りをしている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の処方箋が毎回添付されており、職員それぞれが内容を確認し処方箋を活用している。誤嚥防止のため薬袋に色をつけて確認している。</p>	<p>○</p> <p>職員それぞれではなく全員が周知できるよう、月一回の会議、入居者の薬の用法と目的、副作用について読み上げ確認する。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘になりづらい献立を考えている(食物繊維の多い食材や野菜を多く使用するなど)。便秘症状があった時は、医師に相談し薬の処方をお願いしたり、朝食後には牛乳、お茶等水分を多く取ってもらうよう心がけている。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後個々の状態に合わせ援助を行っている。義歯は週一回ポリデント洗浄を行っている。歯科医による講習会に参加しケアの方法を勉強している。</p>	<p>○</p> <p>今後も講習会等に参加し口腔内の清潔に努めたい</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>常時水分を多く取って頂いている。散歩、外出時は水分を持参し休憩しながら水分補給している。入浴後も必ず水分補給している。尿量少ない方にも水分大目に摂取してもらっている。夜間にも希望に応じてコップにお茶用意している。栄養量は法人の管理栄養士にカロリー計算して頂いている。</p>	

グループホームコスモスさいなみ・1階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し対応している。研修会に参加し勉強している。職員に勉強会を開き周知徹底している。トイレ掃除には塩素系漂白剤を使用している。日頃から散歩後、トイレ使用后、調理前、配膳前、食事前には手洗いうがいの励行をしている	○	専門家によるホーム内での勉強会を実施していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は献立を作成し無駄のない様、野菜には購入の日付を記入し、新鮮なうちに使い切っている。調理器具等は塩素系漂白剤を使用し衛生チェック表にて衛生管理を徹底している。入居者に洗って頂いた食器も食器洗い乾燥機にかけ衛生管理を徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	自動ドアは開放し、玄関周りは小学生から頂いた花や入所者が育てている植物を植え、入りやすい環境に工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節の花々を飾り、季節の言葉を入所者に習字を書いて頂き掲示したり行事の写真や作成した季節の貼り絵、ホーム便りを貼っている。ホールからはプランターに植えた花を眺め、心和めるようにしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外にはベンチやプラスチック椅子を室内にはソファを置き、冬場はこたつを作り、自然に仲の良い入居者同士で会話が出来る居場所を作っている。		

グループホームコスモスさいなみ・1階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームコスモスさいなみ・1階

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「ゆっくり楽しく過ごしましょう」のスローガンの通り、ホームでは入居者と職員がゆっくりお茶を飲みながら会話している、和やかな雰囲気が感じてもらえると思います。

1月からは犬の「チャチャ」も仲間に加わり、動物と過ごすことにより入居者、職員がそれぞれに心癒されているように思われます。

ご家族の行事への参加、面会、外出、外泊も多くあり、今年は家族ボランティアさんに畑作りから野菜の苗の植え付け、プランターへ花植え、花壇の消毒、剪定等日職員の手が届かないところをお手伝いして頂き大変助かりました。苗の成長段階から収穫まで情緒豊かに楽しむ事ができ、沢山の野菜が食卓を賑やかしてくれました。

入居者の皆様それぞれ個性豊かであり、活発に活動に参加されており、希望や意見も自由に発言されています。今現在の体力、能力を維持してもらえるよう支援しており、毎日の散歩も体力維持の一つですが、近所の方々との交流を大切に、地域で暮らすことの意義を考えております。地域のボランティアさん、小学生さんとの交流もしており、外部からの刺激もあり、ホーム内に閉じこもることもありません。また入居者の活躍の場面を一人一人の能力を考慮し発揮してもらっています。

職員のチームワークもよく、お互いのことをよく理解し思いやりながら、年間の季節の行事を大切にしており、またホームの大きな行事にも積極的に取り組んでおります。入居者の思いを大切に汲み取り、気持ちに添えるよう職員一丸となって努力しております。